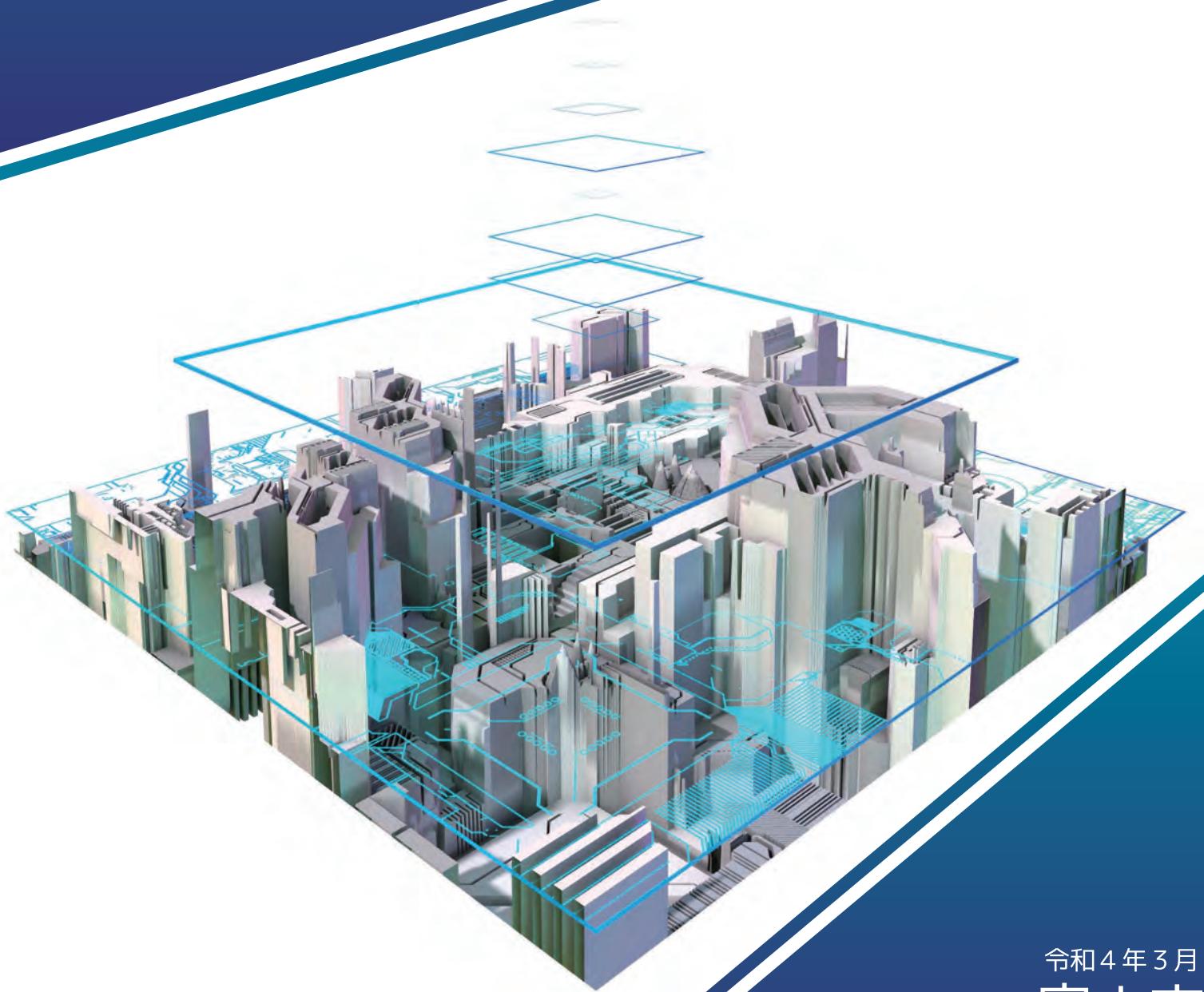


第四次 富士市情報化計画

2022-2026



令和4年3月
富士市

はじめに

近年のスマートフォン普及に代表されるデジタル技術の進展は、私たちの暮らしを大きく変貌させています。

現在、市が直面している人口減少や少子高齢化をはじめとする様々な社会課題の解決には、デジタル技術の活用が欠かせません。

このような中、世界的に大流行した新型コロナウイルス感染症は、日常生活を一変させ、会議のオンライン化や電子商取引の拡大など、社会・経済のデジタル化をさらに加速させました。

こうしたことから、国は、社会全体のデジタル化の推進に当たり、市民に身近な行政を担う地方自治体の役割が極めて重要であるとしています。

本市におきましては、これまで、マイナンバーカードを活用したサービスの拡充や子育てワンストップサービスの提供など、市民サービスの充実を図るとともに、テレワーク先進都市の実現に向けたテレワーク推進ロードマップの作成など、地域の魅力向上に取り組んでまいりました。

また、定型業務の自動化など、先端技術を活用した業務効率の向上のほか、職員の働き方改革の取組を進め、質の高い行政サービスの提供に努めているところであります。

令和2年8月には、デジタル技術を最大限活用し、様々な社会的課題に果敢に取り組むことにより、暮らしの質や価値を高め、安心で豊かなまちづくりを推進していくため、「富士市デジタル変革宣言」を行っております。

このたび、この宣言に基づく情報化事業を効果的に実施し、デジタルを原動力として市全体を発展させるべく、「デジタルで 輝く未来を拓くまち ふじ」を基本理念とした、「第四次富士市情報化計画」を策定いたしました。

本計画の推進に当たりましては、国、県、関係機関並びに市民の皆様とともに取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力を願いいたします。

結びに、計画の策定に当たり、多くの貴重なご意見をいただきました市民の皆様をはじめ、関係各位に対しまして厚く御礼申し上げます。



令和4年3月
富士市長 小長井 義正

目次

基本計画編1
第1章 本計画の概要2
1. 本計画策定の目的2
2. 本計画の位置付け3
3. 本計画の推進期間4
4. 本計画の構成4
第2章 情報化の動向5
1. 本市の情報化政策の動向5
1.1 第三次富士市情報化計画の動向5
1.2 庁内の情報化の動向7
2. 国の情報化政策の動向9
2.1 情報化政策の動向9
2.2 情報化の方針9
3. 静岡県の情報化政策の動向13
3.1 情報化政策の動向13
3.2 情報化の方針14
4. ICT(情報通信技術)の動向17
4.1 個人・企業の情報化動向17
4.2 ICT の最新の技術動向29
5. 動向のまとめ31
第3章 情報化アンケートの結果と課題32
1. 情報化アンケートの結果32
1.1 市民向けアンケートの結果32
1.2 中学生・高校生向けアンケートの結果42
1.3 職員向けアンケートの結果52
2. 情報化の課題55
2.1 市民向けアンケートから得られた課題55
2.2 中学生・高校生向けアンケートから得られた課題55
2.3 職員向けアンケートから得られた課題55
第4章 計画の基本理念と基本方針56
1. 基本理念56
2. 基本方針56
3. 計画の体系58

第5章 情報化施策	60
1. 便利で安心な市民サービスの提供	60
1.1 デジタルを原動力とするテーマや領域	60
1.2 社会的背景と現状	60
1.3 本市のこれまでの取組	63
1.4 本市の課題	63
1.5 今後の方向性	64
2. 地域活性化と都市機能高度化の推進	66
2.1 デジタルを原動力とするテーマや領域	66
2.2 社会的背景と現状	66
2.3 本市のこれまでの取組	71
2.4 本市の課題	71
2.5 今後の方向性	72
3. 生産性の高い行政経営の実現	74
3.1 デジタルを原動力とするテーマや領域	74
3.2 社会的背景と現状	74
3.3 本市のこれまでの取組	78
3.4 本市の課題	79
3.5 今後の方向性	80
第6章 計画の進め方	82
1. 推進体制	82
2. 人材育成	83
2.1 内部人材の育成	83
2.2 外部人材の登用	83
3. 進行管理	84
3.1 年間スケジュール	84
3.2 全体スケジュール	85

実施計画編	87
実施計画編の概要	89
情報化事業の評価	89
情報化事業一覧	90
1. 便利で安心な市民サービスの提供	90
1.1 行政サービスのオンライン化	90
1.2 窓口のスマート化	90
1.3 マイナンバーカードの活用	90
1.4 情報伝達のデジタル化	91
1.5 導入済みシステムの運用	91
2 地域活性化と都市機能高度化の推進	92
2.1 最適な学びの場の提供	92
2.2 くらしの質の向上とにぎわいの創出	92
2.3 次世代技術とデータの利活用推進	92
2.4 デジタル格差の解消	93
2.5 導入済みシステムの運用	93
3 生産性の高い行政経営の実現	94
3.1 先端技術の積極活用	94
3.2 ワークスタイル変革の推進	94
3.3 DX 推進体制の強化	94
3.4 クラウド化・標準化の推進	94
3.5 導入済みシステムの運用	95
各情報化事業について	97
個票の見方	97
1 便利で安心な市民サービスの提供	98
1.1 行政サービスのオンライン化	98
1.2 窓口のスマート化	102
1.3 マイナンバーカードの活用	105
1.4 情報伝達のデジタル化	107
1.5 導入済みシステムの運用	110
2 地域活性化と都市機能高度化の推進	113
2.1 最適な学びの場の提供	113
2.2 くらしの質の向上とにぎわいの創出	116
2.3 次世代技術とデータの利活用推進	128
2.4 デジタル格差の解消	131
2.5 導入済みシステムの運用	134

3 生産性の高い行政経営の実現.....	137
3.1 先端技術の積極活用.....	137
3.2 ワークスタイル変革の推進.....	140
3.3 DX 推進体制の強化.....	142
3.4 クラウド化・標準化の推進.....	143
3.5 導入済みシステムの運用	146
デジタル変革に資する事業一覧	156
参考資料	162
1. 富士市デジタル変革宣言	162
2. 情報化アンケートの調査結果	163
2.1 市民向けアンケート(1回目).....	163
2.2 市民向けアンケート(2回目).....	172
2.3 中学生向けアンケート(1回目)	177
2.4 中学生向けアンケート(2回目)	184
2.5 高校生向けアンケート(1回目)	186
2.6 高校生向けアンケート(2回目)	194
2.7 職員向けアンケート.....	197
3. 用語解説.....	203
4. 第六次富士市総合計画施策体系及び本計画との関係	214
5. 第4次富士市行政経営プラン取組事項及び本計画との関係	221

参考資料の用語解説に記載されている用語については、本文の初出時に「※」を付してあります。